



県がすすめている取り組みを紹介します！

「おもてなしの心」を大切に ～宿泊業で活躍する皆さんを応援します～

観光業は長崎県の主要産業の一つです。その中でも、観光客が長い時間を過ごす宿泊施設での質の高いサービスは、観光地の印象として心に残り、リピーターの増加にもつながります。

県では、ホテルや旅館などの宿泊業で活躍するプロフェッショナル人材の認定制度などを設けています。

長崎コンシェルジュ

県内の宿泊施設において、観光客が快適に滞在し、満足いただけるサービスを提供するとともに、本県ならではの価値や魅力を伝えることができる優秀な人材を「長崎コンシェルジュ」として県が認定しています。年に1回実施する認定試験では、ホテルコンシェルジュとしての基本的な能力に加え、英会話や地域・観光情報に関する知識が問われます。

ゴールド、シルバー、ブロンズの3つの等級があり、現在、27名が11施設で、自身の知識や体験を生かしながら、他の地域にはない長崎の魅力を伝えるプロフェッショナルとして活躍しています。



令和元年度の認定者の皆さん

観光の「ミライ☆ニナイ」塾

若者の皆さんが宿泊業に対して明確なイメージを持って就職し、将来にわたって活躍できるよう後押しすることを目的に、県内の高校2年生を対象に昨年から実施しています。

昨年度は、宿泊施設の経営者や長崎コンシェルジュの講演、若手社員との座談会を長崎・佐世保の両会場で各6回開催。参加者からは、「実際にホテルで働いている方から、仕事のやりがいなどについて聞けてよかった」という感想が寄せられました。

今年度も8月に開講し、県内各地から約90名の参加が予定されています。



昨年度の講演の様子



夢をかたちに!

長崎県知事
中村法道

本県を訪れた皆さまに、「また長崎に行きたい」と感じていただくために、「おもてなしの心」をもって観光資源の魅力を案内・発信していくことができるよう、観光業の未来を担う皆さんへの支援に引き続き取り組んでいきます。

問合せ 県の観光振興課 ☎095-895-2643

長崎県観光振興課

検索



株式会社
アグリコーポレーション
(五島市)

お話を伺ったのは
代表取締役社長
さとうよしあき
佐藤義貴さん



県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

脱サラで農業経営 サツマイモを生産

大阪の税理士事務所に勤務していましたが、一念発起し、2011年に妻の祖父の出身地である五島市三井楽町に農地を購入し、農業経営をスタートしました。最初はサツマイモのほかカボチャやブロッコリー、バレイショなども作っていましたが、現在は天災に強く貯蔵性にも優れ、加工の種類も豊富なサツマイモに絞り、35ヘクタールの畑で年間500トンほどを生産しています。



安納芋、紫芋、芋乙女の3品種を有機農法で生産

加工品の開発も順調、 2019年に新工場を建設

2015年から赤ちゃん向けのおやつやペット用のおやつなどの加工品を開発・販売し、売り上げも順調に伸びています。昨年、サツマイモをペースト状にする機械などを備えた加工場を建設したことで、サツマイモの一次加工専門の製造メーカーとしても歩み始めています。今までは島外での販売がほとんどでしたが、今後は島内でも積極的に販売を行い、地元の皆さんから信頼され、地元で根付いた企業になりたいと思っています。



2019年に五島市三井楽町濱ノ畔に建設した加工場兼事務所

有機農法で地域を 活性化させたい

消費者に安全・安心なものを届けたいという思いから、有機JAS認定を取得し、有機肥料・無農薬による農業に取り組んでいます。目標は、30～40年かけて農場を1500ヘクタールまで拡大し、全国から有機農業をしたいという移住者を迎え入れ、三井楽の活性化に貢献することです。規模拡大に伴い、従業員を増やすことも必要になってきますので、島内の若い人たちにアグリコーポレーションを知ってもらい、就職してもらえるような広報活動にも今後力を入れていきます。



赤ちゃん用のおしゃぶり干し芋「おしゃぶー」や「安納芋バター」「わんちゃんのおやつ」など、社長のアイデアが光る加工品の数々

30年後は有機農場を 1500ヘクタールまで規模拡大し、 三井楽町を活性化させたい

